



こんにちは
教育委員です

発行:今金町教育委員の会
〒049-4393 北海道瀬棚郡今金町字今金48−1
TEL:0137-82-3488【No.99】H24(2012).2.21
E−mail:mitsuhiro.nakajima@town.imakane.lg.jp

新春教育懇談会開催
～今金町教育委員・今金町校長会～

輝かしい２０１２年の新春に教育委員の皆さんと校長会による教育懇談会が１月１３日（金）、教育長室を会場に開催されました。

中島教育長の進行により進められ懇談会は、冒頭、橘委員長より、日頃の学校経営に対するお礼と子ども達の挨拶の素晴らしさについてお話があり、坂田校長会会長からは、新年のあいさつと共に日頃の教育委員会の手厚い教育支援についてのお礼の言葉がありました。



懇談会は、３学期に向けた各学校の取り組みや子ども達の様子（学力・体力・生活習慣の改善）等についての情報提供をいただき、それらに対する各教育委員からの意見や感想が述べられました。内容の一部を紹介すると、美利河小学校については、次年度の山村留学生の状況や閉校後の地域づくりに向けた学校の役割。種川小学校は、地域に根ざした学校づくりと総合的な学習の時間の減少に伴う今後のふるさと先生の活用課題について。今金小学校においては、新学習指導要領の対応と巡回指導教員事業における中学校の英語教諭の小学校での国際交流アドバイザー、学級担任との連携による外国語活動の授業の取り組みなど。今金中学校においては、英語と数学の少人数指導の取り組みから習熟度別指導への転換に向けた取り組みなどです。



〈参加者〉教育委員（橘教育委員長、平井委員長職務代理、田中委員、川上委員、中島教育長）、校長会（坂田種川小学校長、木村美利河小学校長、中山今金小学校長、前田今金中学校長）

やったぜ、準優勝！！
今年も全道大会へ出場

去る、１月１５日（日）江差町文化会館を会場に開催された第３３回檜山子連子どもかるた大会（主催：檜山地域子ども会育成連絡協議会）において今金町代表として６チーム（ジュニアの部２チーム、小学生の部４チーム）が出場し、小学生の部で今金Ａチームが見事準優勝の成績をおさめ、２月２６日（日）に定山渓ビューホテルで開催される第１５回北海道子どもかるた大会の出場切符を手にしました。頑張った子ども達は、勿論ですが、百人一首少年団や子ども会関係者、保護者、運営指導に毎回あたっていただいている今金百人一首クラブの皆さんの日頃からの熱心な指導や協力の賜です。昨年に引き続き全道大会での活躍を心から願っています。



〔これまでの全道大会での戦績〕

第 14 回(H23 年)大会
小学生の部　第3位
第 13 回(H22 年)大会
中学生の部　敢闘賞
第 12 回(H21 年)大会
小学生の部　第3位



〔百人一首ミニ講座〕

「競技かるた」は、テレビでお正月に放映される競技かるたの試合やかるたを描いた人気漫画「ちはやぶる」でお馴染みの方も多いと思いますが、競技かるたは、小倉百人一首を用い、詠まれた短歌を如何に早く取れるかを競うシンプルな競技です。しかし、単純な故に奥は深く、上達すればするほどその魅力にはまると言われています。また、動きは意外と激しく、札を素早く払う様から「畳の上の格闘技」とも呼ばれています。



さて、北海道の百人一首は、「板かるた／下の句かるた」と呼ばれ、取り札が木の板でできており、独自の書体で文字が書かれています。発生の歴史は北海道説、福島県会津若松説があると言われ、現在では江戸時代に会津藩の武士が手内職で作成したのではないかという説が有力で、北海道へは屯田兵が持ち込んだ説、北方警備に赴任した武士が持ち込んだ説、開拓団が持ち込んだ説などがあります。５人対５人、３人対３人などの団体戦で行われ、下の句しか読まないなど、一般の百人一首と若干異なるやり方で遊び継がれ、全日本下の句かるた協会も作られ、冬になると北海道全体で遊ばれ、名人戦や選手権大会なども開催されています。



委員リレー寄稿「歳時記」



今月は委員長職務代理平井委員です。

冬なくば春なきに

今年の日本列島は、一月、二月大寒波の襲来で全国各地記録的な大雪にみまわれ、毎日毎日の除雪に、疲労困憊、閉口していることは、皆様もご同様と思います。また、屋根の雪下ろしや交通事故で死亡者、怪我人も多く、心からお見舞い申し上げます。さらに、昨年三月十一日の東日本大地震大津波で被災され、不便、不安な中で仮設住宅での厳しい生活を余儀なくされている方々を思うと、一刻も速い復興、復旧を切望いたします。

四季がはっきり感じられる北国に住む人々は、この辛く厳しい冬を耐えながら爽やかな春が来ることを実体験でき、そのなかで辛抱、我慢、苦労、努力、知恵等から前途に希望が持てる精神的な強い心が培われてきたことと思います。この強い心が、大震災の道徳ある行動が世界から称賛されたと思います。朝五時半に起き嫌々除雪に取りかかりますが、終わってから振り向くと綺麗な道ができ、自分の道は自分で開く、雑念の無い充実した達成感を覚えます。最近は固い桜の蕾が見られ少しずつ春に近づいていることを感じます。





菅原道真の名句「東風吹かば匂いおこせよ梅の花、主なしとて春な忘れそ」。柳宗悦の詞「旧年寒苦の梅、雨を得て一時に開く」

早く春よこいと口ずさむこの頃です。春は近い。



総合型スポーツクラブいまかね設立1周年記念
小学生ドッジボール大会開催

１月２２日（日）総合体育館を会場に総合型スポーツクラブいまかね（会長：村瀬　広氏）の設立１周年を記念し、小学生のドッジボール大会が開催されました。潔癖症チーム主将の木戸優也くん（今金小６年生）の元気な選手宣誓の後、熱戦が繰り広げられ、子ども達の歓声が体育館に響き渡りました。



戦績は、以下の通りです。

高学年の部　優　勝　もといーズ
準優勝　潔　癖　症
中学年の部　優　勝　チームストロング
準優勝　今小バトろうズ
３　位　今小ゴリラーズ

総合型地域スポーツクラブいまかね設立1周年記念
町民キンボールリーグ！開幕

１月３１日（火）、総合体育館を会場に一般成人や職場を対象とした町民キンボールリーグが１２チームの参加のもと開会式が行われました。運動不足になりがちな冬期間の運動機会の提供とキンボールの普及をめざすもので、開会式終了後はキンボールのルール研修会と抽選会が行われました。リーグ戦は、２／８・１６・２４の３日間３ブロックで行われ、２／２８各ブロックの順位毎の決勝リーグで熱戦が繰り広げられます。



競技は、日本キンボールスポーツ連盟公式ルールに準じ行われます。競技者４名、１チームの登録は１０名までです。



キンボールは、総合型スポーツクラブの結成と共に町民皆スポーツをめざし、ノルディックウォーキングと共に普及してきたものです。